

行財政改革対象事業の個票 様式の見直しについて



日 野 市

Hino City

見直しの背景および経緯

- 行財政改革対象事業の進捗管理においては、「財政再建計画・第6次行財政改革実施計画」に基づき、「財政運営のあるべき姿」を達成するための具体的な取組として、定量的な数値（基準値・目標値・財政効果額など）を主軸とした個票様式により進捗管理を行ってまいりました。しかしながら、取組の中には、数値のみでは評価や進捗の推し量りが難しいもの、関係者との調整・合意形成といったプロセスの着実な実施が求められるものが多く存在します。
- 旧様式では、「数値化しにくい取り組みの進捗が正しく評価されない」、「本来の目標達成とは必ずしも直結しない『数値化しやすい指標』が形式的に設定されてしまう」といった課題が生じていました。
- そこで、事業の本質的な改善・見直しをより実効性高く管理・評価できるよう、従来の定量指標中心の管理から、「めざすべき状態」や「検討・合意形成等のプロセス」を重視した管理へと移行するものです。

【参考】行財政改革対象事業個票の様式



現様式

コード					
強化取組方針					
取組項目					
担当当課			関係課		
事業概要					
目標	基準値		目標値		
	(R3末)		(R9末)		
年度	年度計画			年度実績	
	取組内容	目標値	財政効果 以外の効果 財政効果	取組実績	成果値 財政効果
R5 (2023)			円		円
R6 (2024)			円		円
R7 (2025)			円		円
R8 (2026)			円		円
R9 (2027)			円		円
時点			円		円
取組状況			取組課題		

新様式

コード	記入不要					選択項目	
取組項目	対象事業名を記載				主担当課	〇〇〇課	
					関係課	〇〇〇〇課・〇〇〇〇課・〇〇〇〇課	
事業概要	上記「取組項目」で記載いただいた事業について、どのような取り組みなのか、具体的に記載						
現状と課題	(現状) 「取組項目」の事業について、現時点での実施状況や実績について記載			(課題) 「取組項目」を実施している中で生じている具体的な問題点や改善すべき点について記載			
目標	計画期間の終わり(令和12年度末)に「うまくいった」と言える状態。数値で表せる部分は数値で、表せない部分は「誰が・何を・どうしている状態かを記載		期待される効果		設定した目標を達成することで、どんな効果が生まれるのかを記載		
年度別計画・実施内容							
実施項目 (目標達成に向け何を・何時から何時までに実施するかの) ※短・中・長期別	実施内容		R8	R9	R10	R11	R12
	短期的取組(単年度で達成可能)の場合		→	→	→	→	→
	〃 (例)事業方針の決定・計画決定		→	→	→	→	→
	中期的取組(複数年度で達成可能)の場合		→	→	→	→	→
	〃 (例)事業計画の見直し・実行		→	→	→	→	→
長期的取組(10年単位で達成可能)の場合		→	→	→	→	→	
〃 (例)ハード整備の早期事業完了		→	→	→	→	→	
目標達成に向けた取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	各実施項目について完了までの想定期間を矢印で表してください。	
	設定した目標及び実施項目の達成に向けた進捗を図るため、当該年度において、何に取り組むのかを設定						
実施内容・結果	今年度、実際に行ったことを記入。 「検討した」場合は、何を・誰と・どこまで検討したかを記入。						
実施項目の取組状況	◎ 取組完了						
判定理由	取組状況の評価に対する理由を記載						
指標別評価	目標に対する評価指標		R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか						
合意形成	・関係課・関係者との調整が進んでいるか						
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか						
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか						
説明責任	・市民等への説明に向けた準備が進んでいるか						
(凡例)	○：完了／◇：概ね完了／△：着手中／×：未着手・実施不可 ※全体の目標に対する評価。 (自由記載欄)						
R8年度							
懸念・相談事項							
事務局評価欄							



様式の見直しポイント① ー評価の基本軸ー

定量指標（数値データ・財政効果額）中心

現
様
式

年度	年度計画		年度実績	
	取組内容	目 標 値	取組実績	成 果 値
R5 (2023)		円		円
R6 (2024)		円		円
R7 (2025)		円		円
R8 (2026)		円		円
R9 (2027)		円		円
時点	将来発生する 財政削減計画額	円	将来発生する 財政削減見込額	円

新
様
式

定性的な達成状態プロセス評価中心

目標達成に向けた取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
	設定した目標及び実施項目の達成に向けた進捗を図るため、当該年度において、何に取り組むのかを設定					
実施内容・結果	今年度、実際に行ったことを記入。 「検討した」場合は、何を・誰と・どこまで検討したかまで記入。					
実施項目の取組状況	◎ 取組完了					
判定理由	取組状況の評価に対する理由を記載					
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者との調整が進んでいるか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
説明責任	・市民等への説明に向けた準備が進んでいるか					
（凡例）	◎：完了／○：概ね完了／△：着手中／×：未着手・実施不可 ※全体の目標に対する評価。					

Point

数字に表れない事業本来の課題や、見直しに向けたプロセス（合意・体制等）を評価可能にする。



様式の見直しポイント②

ープロセスの指標別評価ー

成果値・財政効果額の数値検証

5つの定性指標による評価

旧様式

年度	年度計画			年度実績		
	取組内容	目標値	財政効果 以外の効果 財政効果	取組実績	成果値	財政効果 以外の効果 財政効果
R5 (2023)			円			円
R6 (2024)			円			円
R7 (2025)			円			円
R8 (2026)			円			円
R9 (2027)			円			円
時点	将来発生する 財政削減計画額		円	将来発生する 財政削減見込額		円

新様式

実施内容・結果	今年度、実際に行ったことを記入。 「検討した」場合は、何を・誰と・どこまで検討したかまで記入。					
実施項目の取組状況	◎ 取組完了					
判定理由	取組状況の評価に対する理由を記載					
指標別評価	目標に対する評価指標	R8	R9	R10	R11	R12
方針形成	・課題と見直しの方向性が整理されているか					
合意形成	・関係課・関係者との調整が進んでいるか					
実施体制	・検討・実施に必要な体制が整理されているか					
制度改善	・見直し内容が方針や運用に反映されているか					
説明責任	・市民等への説明に向けた準備が進んでいるか					
(凡例)	◎：完了／○：概ね完了／△：着手中／×：未着手・実施不可 ※全体の目標に対する評価。					

Point

準備・調整・説明責任など、目標達成に至るステップの進捗を4段階で判定する。



様式の見直しポイント③ ー現状・課題の把握ー

事業概要のみ

現
様
式

事業概要				
目標				
	基準値		目標値	

事業概要に加え、「現状」と「課題」を独立して明確化

Point

何が問題で何を改善すべきかを
明確にし、見直しの根拠を具体化する。

新
様
式

事業概要	上記「取組項目」で記載いただいた事業について、どのような取り組みなのか、具体的に記載	
現状と課題	(現状) 「取組項目」の事業について、現時点での実施状況や実績について記載	(課題) 「取組項目」を実施している中で生じている具体的な問題点や改善すべき点について記載



様式の見直しポイント④ ー目標の設定方法ー

基準値・目標値(数値データ)の記載

現
様
式

事業概要				
目標				
	基準値		目標値	

Point

数値化しにくい事業でも、計画終了時の「うまくいった状態」を認識させ、目標達成により「どんな効果が生まれるのか」を共通認識化する。

「誰が・何を・どうしている状態か」の記述

新
様
式

現状と課題	(現状) 「取組項目」の事業について、現時点での実施状況や実績について記載	(課題) 「取組項目」を実施している中で生じている具体的な問題点や改善すべき点について記載
目標	計画期間の終わり(令和12年度末)に「うまくいった」と言える状態。数値で表せる部分は数値で、表せない部分は「誰が・何を・どうしている状態か」を記載	期待される効果 設定した目標を達成することで、どんな効果が生まれるのかを記載

様式の見直しポイント⑤ ー進捗及び工程管理ー

単年度ごとの
取組内容・計画の記述

現
様
式

年度	年度計画	
	取組内容	目標値 財政効果 以外の効果 財政効果
R7		円
R8		円
R9		円
		円
		円
R○ 時点	将来発生する 財政削減計画額	円

新
様
式

短・中・長期別のガントチャートの作成
目標及び実施項目の達成に向けた年度別計画作成

実施項目 (目標達成に向け 何を・何時から何 時まで実施する のか) ※短・中・長期別	実施内容	R8	R9	R10	R11	R12
	短期的取組(単年度で達成可能)の場合	→				
	" (例)事業方針の決定・計画決定			→		
	中期的取組(複数年度で達成可能)の場合	→				
	"			→		
	長期的取組(10年単位で達成可能)の場合		→			
"		→				
目標達成に 向けた取組内容	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
	設定した目標及び実施 項目の達成に向けた 進捗を図るため、当該 年度において、何に取 り組むのかを設定					

各実施項目について完了
までの想定期間を矢印で
表してください。

各実施項目について完了
までの想定期間を矢印で
表してください。

Point

完了までの想定期間を視覚化し、中長期的なロードマップ
を主管課自身に作成、認識してもらう。



様式の見直しポイント⑥

ー実績の確認ー

取組実績・財政効果額及びその他の効果の確認

実施内容等を確認に加え、目標及び実施項目の達成に向けた年度別計画作成

現
様
式

年度	年度計画		年度実績	
	取組内容	目標値 財政効果 以外の効果 財政効果	取組実績	成果値 財政効果 以外の効果 財政効果
R7		円		円
R8		円		円
R9		円		円
		円		円
		円		円
R○ 時点	将来発生する 財政削減計画額	円	将来発生する 財政削減見込み額	円

新
様
式

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標達成に 向けた取組内容	設定した目標及び実施 項目の達成に向けた 進捗を図るため、当該 年度において、何に取 り組むのかを設定				
実施内容・結果	今年度、実際に行った ことを記入。 「検討した」場合は、何 を・誰と・どこまで検討 したかまで記入。				
実施項目の 取組状況	◎ 取組完了				
判定理由	取組状況の評価に対 する理由を記載				

Point

取組内容に対する評価とその理由を主管課自身が行う
ことで、進捗状況と次年度に向けた対応を検討してもらう。

様式の見直しポイント⑦ 一課題・相談の吸い上げ

取組状況及び課題の確認

現
様
式

取組状況		取組課題	
------	--	------	--



課題のほか懸念事項等を吸い上げる

新
様
式

R8年度	(自由記載欄)
懸念・相談事項	

Point

主担当課が抱える悩みを早期に把握し、事務局との伴走・支援体制を強化する。

今後の運用について

■ 新様式への移行時期

行財政改革の見直しに伴い、令和8年度より適用

■ 運用上の留意点

数値化できる部分については引き続き数値を用いつつも、めざすべき姿（目標）と、達成に向けたプロセスを具体的に示すことで、より効果的な事業管理・改善につなげます。